

町民力を結集し、成長と飛躍の一年に



栗山町長 佐々木 学

新年あけましておめでとうござい
ます。町民の皆様には、令和5年の輝か
しい新春をご家族と共に健やかに迎え
られたことと、心からお慶び申し上げ
ます。

昨年を振り返りますと、3年ぶり
となった「くりやま夏まつり」、「栗山
秋まつり」の開催や、道内外から約
1300人のランナーが参加した「第
1回くりやまハーフマラソン」の開催
など、コロナ禍が続く中においても、
多くの町民、関係者の皆様のご協力の
もと、栗山の元気を発信することがで
きた一年となりました。

厳しい時代からこそ、町民の皆様と
力を合わせ、創意工夫のもと様々なこ
とに挑戦することの大切さを、再認識
したところであります。

また、本町の基幹産業であります農
業は、春先から短い周期で天候が変わ
る難しい気象条件でありましたが、農

業者皆様のご努力により、水稲をはじ
め主要な農作物が総じて豊作というこ
とで、4年連続の素晴らしい豊穡の秋
を迎えることができました。

さらに、本町の未来を担う栗っ子た
ちが、文化・スポーツの各分野で全道・
全国大会出場を果たされるなど、その
活躍がまちに元気を与えてくれた一年
となりました。

今年3月には、我々が栗山監督率い
る侍ジャパンがWBCに出場し、世界
一奪還を目指します。町民の皆様と
もに熱い声援を送りたいと思っており
ます。

さて、今年の干支「癸卯（みずのと・
う）」には「厳冬が去り、春の兆しが訪
れる」との意味があり、成長・飛躍の
年と言われています。今年こそは、長
期に渡るコロナ禍が収束し、町民の皆
様の希望が芽吹く一年となりますこと
を切に念願するものであります。

そして、町政におきましても今年は
成長・飛躍に向けた新たな展開の一年
としてまいりたいと考えております。

農業生産基盤整備を促進する「総合
土地改良センター」の設置をはじめ、
関係人口の創出と商店街の活性化を図
る「栗山煉瓦創庫くりふと」のオープ
ン、令和7年7月開院を目指す「栗山
赤十字病院」建替工事の着工、そして、
栗高女子硬式野球部設立の取組や高・
専一貫教育プログラムの開発など「栗
山高校」と「介護福祉学校」の存続に向
けた取組を加速してまいります。

まさに栗山新時代に向けたまちづく
りが芽吹き始めようとしております
が、町民の皆様と共に創りあげた町の
最上位計画「第7次総合計画」がスター
トする本年は、町民力を結集し、「元
気なまち栗山」を広く発信してまいり
たいと考えております。

輝かしい新年が、まさに本町の「成
長と飛躍の一年」となるよう、今後も
職員一丸となり、果敢に挑戦を続けて
まいりますので、一層のご支援とご協
力をお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆様にとりま
して、明るく健やかな年でありますよ
う心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶
といたします。

町民の皆様、新年あけましておめで
とうございます。

令和5年の幕開けにあたり、謹んで
新年のご挨拶を申し上げますととも
に、ご家族お揃いで健やかに迎えられ
たことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、議会運営に対しまして温
かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼
申し上げます。

さて、令和4年を顧みますと、2月
の冬季北京オリンピック・パラリン
ピックや11月開幕のサッカーワールド
カップでの日本選手の活躍する姿に国
民の多くが勇気と希望をもらいまし
た。こうした明るいニュースがある一
方、引き続き新型コロナウイルスの新
株による感染拡大やロシア連邦による
ウクライナへの軍事侵攻などが、世界
情勢に不安と混乱を及ぼす一年ではな
かったかと感じています。

本町においては、基幹産業でありま
す農業が、近年の天候不順がある中、
水稲は4年連続の豊作、畑作物は概ね
平年並みとなり、安堵したところです。
一方でウクライナ情勢の緊迫化や円安
の影響により燃油価格が高騰、また、
穀物価格、肥料価格高騰等により、農
業のみならず商工業においても経営が
圧迫される状況となっております。

こうした影響により、本町の経済は
厳しい状況が続いておりますが、今年
はこうした状況が好転することを願う
とともに、町議会としても議会基本条
例の理念である町民参加を怠ることな
く、今後においても各団体とともに連
携し、皆様の声を町政に反映できるよ
う努めてまいります。

本年は、統一地方選挙が実施されま
す。栗山町議会では、2期連続での無
投票の事態を受け、令和元年に「議員

の報酬と定数に関する調査特別委員
会」を設置し、議員報酬と定数のあり
方、なり手不足の問題についても慎重
に協議を重ねました。その結果、議員
定数については次期改選期より1人削
減することとし、報酬については、現
在の情勢を鑑みて現状を維持するとい
う結論となりました。

一方、深刻な問題となっているなり
手不足の問題につきましては、未来の
担い手育成として議会への興味関心を
高める取り組みや小中学校への啓発活
動、議員の後継者育成の取り組みなど、
なり手を育成する土壌づくりとして議
会としても取り組むべきであるとし、
具体的な取り組みについて議会改革推
進会議において検討をしているところ
です。近く、皆様にご案内ができるも
のと考えております。

今後、次期改選期より定数が1人削
減とはなりますが、各議員個々の一層
の資質向上に努め、議会力を高め、よ
り一層、町民の皆様信頼され、存在
感のある豊かな議会を目指してまいり
ます。

年頭にあたり、この一年が町民の皆
様にとって素晴らしい年でありますよ
う心からお祈りを申し上げます、新
年のご挨拶といたします。



本年も
よろしくお祈りします

町長 佐々木 学
副町長 橋場 謙吾
ほか職員一同

◆議会
議長 鶴川 和彦
副議長 藤本 光行
議員 大西 勝博
友成 克司
佐藤 則男
土井 道子
佐藤 清己
千葉 幸
三田 源
齊藤 義崇
置田 武司
鈴木 千逸

◆農業委員会
会長 吉田 寿栄
同代理 鳥村 正行

◆監査委員
谷田 進太郎
大西 勝博

◆教育委員会
教育長 吉田 政和
同代理 井上 博幸

◆選挙管理委員会
委員長 鈴木 英雄
同代理 古林 義弘

◆公平委員会
委員 坂口 由紀子
鳴海 秀樹
越前谷 徹

◆国民健康保険運営協議会
会長 北 輝男
同代理 片山 肇

◆都市計画審議会
会長 早坂 義幸
同代理 三田 源幸

◆社会教育委員
委員長 藤井 吉美
副委員長 田村 賢治
副委員長 原田 優司

◆スポーツ推進委員
委員長 岡山 典弘
副委員長 高石 賢治



町民のための豊かな議会であるために

栗山町議会議長 鶴川 和彦

